

2022年9月15日

「LEXUS DESIGN AWARD 2023」新たな審査員とメンターを発表

デザイン界を牽引する顔ぶれが、次世代のクリエイターと共にデザインの可能性に挑む



左から 審査員：パオラ・アントネリ (©Marton Perlaki)、カリム・ラシッド (©Nikola Blagojevic / Spektrum)、サイモン・ハンフリーズ
メンター：マーヤン・ファン・オーベル (©Sander Plug)、ジョー・ドーセット、スズキユウリ (©Mark Cockledge)、スマイヤ・ヴァリー (©Lou Jasmine)

LEXUS は、次世代を担うクリエイターを対象とした国際デザインコンペティション「LEXUS DESIGN AWARD 2023」に、審査員としてカリム・ラシッド氏を、メンターとしてマーヤン・ファン・オーベル氏、スズキユウリ氏、スマイヤ・ヴァリー氏を新たに迎えることを発表しました。既に発表している3名と合わせ、総勢7名の審査員とメンターが、次世代のクリエイターの支援・育成を通じてより良い未来を共に作り上げていきます。

世界的デザイナーのカリム・ラシッド氏は、インダストリアルデザインからインテリアデザインまで、ジャンルを超えて様々なデザインを手がけ、現在では4000を超えるデザインを制作、35ヶ国以上で事業展開を行っているデザイン界のレジェンドです。コラボレーションのオファーが絶えないラシッド氏がこの度、パオラ・アントネリ氏、サイモン・ハンフリーズと共に、未来を担う新しい才能を選出し、アドバイスを送ります。

ラシッド氏は、LEXUS DESIGN AWARD 2023に参加するにあたり、「デザインは、未来と文化をかたちづくる上で、非常に重要な役割を担っています。そんなデザインに携わる中で、このように多くの作品やアイデアを審査できることはとても光栄です。LEXUS DESIGN AWARDに応募するすべてのデザイナーたちに、新しい言語、意義、審美眼を見出し、新しい素材や行動的なアプローチに挑んで欲しいと思っています。また、今回審査員としてこのアワードに携わることで大きな刺激を受け、私自身も創造性や専門性がさらに高まり、より美しく個性的で独創的な作品を生み出すことに繋がることを楽しみにしています」と述べています。

今回4組の受賞者を導くメンターには、オランダ出身で太陽光とテクノロジーを融合し、サステナブルな社会に革新的なメッセージを発信するソーラーデザイナーのマーヤン・ファン・オーベル氏や、「音をデザインするアーティスト」の異名を持つ、日本出身のサウンドアーティスト/エクスペリエンスデザイナーのスズキユウリ氏、そして、アフリカとイスラムのハイブリッド・アイデンティティを表現する南アフリカ出身の建築家のスマイヤ・ヴァリー氏が新たに参画します。

ヴァリー氏は、「LEXUS DESIGN AWARDのメンターチームの一員として、次世代のクリエイターの支援・育成に携わることを、大変光栄に思っています。多様な意見に耳を傾け、それを取り入れること、また、デザインをベースにしたアイデアで革新をもたらすことは、私たちの未来をかたちづくる上でとても重要な役割を担っています。こうした視点を大事に、受賞者たちと共に取り組んでいきたいと思っております」と述べています。

先に参加を発表したジョー・ドーセット氏に、上記3名を加えた強力なメンターチームが、多様なバックグラウンドと専門領域を活かして、次世代のクリエイターたちを導き、より良い未来を迫るためのデザインを4組の受賞者と共につくり上げていきます。3ヶ月をかけてブラッシュアップした作品は、2023年春に発表予定です。

尚、「LEXUS DESIGN AWARD 2023」は、2022年10月16日(日)PM11:59(日本時間)まで応募を受け付けています。

* 詳細については、<https://lexus.jp/magazine/artdesign/lexus-design-award/>をご覧ください。

LEXUS DESIGN AWARD 2023 オンライン説明会

LEXUSは、応募を検討しているクリエイターを対象としたオンライン説明会を開催します。説明会では、LEXUS DESIGN AWARDの目的や想い、応募方法、さらにメンタリングプログラムについてご紹介します。また、過去の日本人受賞者から本アワードを通して得られた体験等をお話しいただく予定です。

- 日時：2022年9月21日(水) 16:00~17:00
- 参加無料
- 事前登録が必要です。詳細・参加登録はコチラから。<https://forms.gle/AqWYDPUXiA9iigFj7>

SDGs視点から見る LEXUS DESIGN AWARD 受賞作品展

LEXUSは、「SDGs週間」に合わせ、9月14日(水)より『LEXUS DESIGN AWARD 豊かな社会とより良い未来に向けたデザイン提案 -SDGs視点から見る作品展示-』をINTERSECT BY LEXUS - TOKYO 1F ガレージにて開催いたします。

- 日時：2022年9月14日(水)~10月25日(火)
- 会場：INTERSECT BY LEXUS - TOKYO 1F ガレージ
- 入場無料
- 詳細はコチラから。<https://lexus.jp/brand/intersect/tokyo/garage/design-award-2022.html>

公式ハッシュタグ：#lexusdesignaward

◆LEXUS DESIGN AWARD 2023 作品募集概要

名称	LEXUS DESIGN AWARD 2023
テーマ	DESIGN FOR A BETTER TOMORROW (より良い未来のためのデザイン)
募集期間	2022年7月27日(水)～10月16日(日) PM11:59(日本時間)
応募資格	18歳以上のクリエイター、専門家、学生、デザイン愛好家など。国籍不問。
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募アイデアが、いかに人々に幸せをもたらすか ● 下記の LEXUS が重視する 3 つの基本原則をいかに具現化しているか <ul style="list-style-type: none"> -Anticipate (予見する) より良い未来社会実現のために、取り組むべき世界的課題を予見するものであるか -Innovate (革新をもたらす) 新規性と独創性を有しているか -Captive (魅了する) 人々の興味をかきたて、心をつかむコンセプトやデザインであるか
審査員	<ul style="list-style-type: none"> ● パオラ・アントネッリ ニューヨーク近代美術館 (MoMA) 建築・デザイン部門シニア・キュレーター ● カリム・ラシッド Karim Rashid Inc. デザイナー ● サイモン・ハンフリーズ トヨタ自動車株式会社 Head of Toyota & Lexus Global Design
メンター	<ul style="list-style-type: none"> ● マーヤン・ファン・オーベル マーヤン・ファン・オーベル スタジオ ソーラーデザイナー ● ジョー・ドーセット デザイナー／ジョー・ドーセット X パートナーズ 代表 ● スズキユウリ アーティスト、デザイナー／ペンタグラム パートナー ● スマイヤ・ヴァリー 建築家／カウンタースペース 主宰
受賞カテゴリー	LEXUS DESIGN AWARD 2023 受賞 4 作品
賞典	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な分野で活躍するメンターとのメンターシップ制度 (約 3 ヶ月間にわたる、アイデアに対する具体的なアドバイスや、プロトタイプ制作のサポート) ● キャリアアップのサポートとなる、グローバルメディアでの露出

	<ul style="list-style-type: none">● リサーチ、プロトタイプ制作費などのプロジェクト費用支援（最大 300 万円）● 審査員との面談機会（最終アイデアへのフィードバックや今後のキャリア相談など、デザインの最前線で活躍する審査員との 1 対 1 の対話機会） <p>詳細については公式ルールをご参照ください。（英語のみ）</p>
主催	Lexus International

◆ LEXUS DESIGN AWARD 2023 審査員プロフィール

パオラ・アントネッリ (Paola Antonelli)

ニューヨーク近代美術館 (MoMA) 建築・デザイン部門シニア・キュレーター



©Marton Perlaki

ニューヨーク近代美術館 (MoMA) 建築・デザイン部門のシニア・キュレーター兼研究開発部門責任者。デザインが世界に好影響を与えることが普遍的な理解として浸透することを目的に活動している。デザイン、建築、アート、科学、テクノロジーを融合し、見過ごされがちなモノや習慣を含む日々の生活におけるデザインの影響力を追求する。これまでに多数のイベントのキュレーション、本の執筆、世界各地での講演を行う。過去、ハーバード大学やカリフォルニア州立大学ロサンゼルス校などで教鞭を執った。直近では、人と自然・生態系のバランスの修復をテーマとした「Broken Nature」(第22回ミラノトリエンナーレで開催)や、建築家ネリ・オックスマンの MoMA での画期的な作品展示会「Material Ecology」、インタラクティブデザインとビデオゲームに関する展覧会「Never Alone」などを手掛けた。現在は、MoMA 研究開発部門 サロンのいくつかの新セッションに従事するほか、デザイン評論家のアリス・ローソン氏と共同で Instagram アカウント@design.emergency を開設し、新型コロナウイルスの世界的流行におけるデザインの役割をテーマにした活動に取り組んでいる。ローソン氏との共著「Design Emergency」は 2022 年の 5 月に出版された。

カリム・ラシッド (Karim Rashid)

Karim Rashid Inc. デザイナー



©Nikola Blagojevic / Spektroom

すぐれた先見性を持ち、数多くの作品を世に送り出すカリム・ラシッドは、今日のデザイン界で最もユニークな人物の一人。4000 を超えるデザイン制作、400 を超える受賞歴、35 カ国以上での事業展開がその伝説を物語る。メソッドやペプシ、アルテミデやヴォンドムの家具、シティバンクやヒューゴボスのブランドアイデンティティ、ラシーやサムスンなどのハイテク製品、ヴーヴ・クリコやクリストフルなどの高級品を含め数多くの注目すべきデザインを手がけている。また、アンブラ社のガルボのゴミ箱や Oh! チェアのような実用的なオブジェクトから、フィラデルフィア州のモリモトレストランやベルリンのエヌハウホテルなどのインテリアまで、幅広い作品で数々の賞を受賞。カリムは、レッド・ドットデザイン賞、シカゴ・アテナイオン・グッドデザイン賞、インテリア・デ

ザイン・ベスト・オブ・イヤー賞、インダストリアル・デザイン・エクセレンス賞（IDSA）などを複数回受賞している。また、大学や国際会議で度々ゲストスピーカーとして招聘されており、日常におけるデザインの重要性をグローバルに発信している。

サイモン・ハンフリーズ（Simon Humphries）

トヨタ自動車株式会社 Head of Toyota & Lexus Global Design



母国イギリスで 1988 年にプロダクトデザイナーのキャリアをスタート。その後、日本でも業務経験を重ねて 1994 年トヨタへ入社。デザインの研究開発にはじまり 2002 年トヨタ（Vibrant Clarity）／レクサス（L-finesse）のデザインフィロソフィーを策定。その後は先行デザイン、量産車デザインと数多くのデザインを監修、2016 年からは欧州デザイン拠点 ED2 に赴任、拠点長として多くの将来モビリティデザインの提案を行う。2018 年帰任後、

デザイン領域全体のヘッドとして指揮を執っている。

LEXUS のグローバルデザインを統括する立場にあり、日本の文化・伝統を取り入れながら人々を魅了するデザインの方向性を構築し、ブランド哲学という形でブランド独自の価値を策定している。プライベートでは日曜大工を楽しみ、100 年前の日本農家の復元にも挑戦している。

◆LEXUS DESIGN AWARD 2023 メンタープロフィール

マーヤン・ファン・オーベル (Marjan van Aubel)

マーヤン・ファン・オーベル スタジオ ソーラーデザイナー



©Sander Plug

マーヤン・ファン・オーベルは、持続可能な未来のために、太陽光とテクノロジーを融合させたイノベーションを探求するオランダ出身のソーラーデザイナー。自身が代表を務める「マーヤン・ファン・オーベルスタジオ」は、太陽エネルギーを日常生活に取り入れるための創作活動を行い、数多くの受賞歴を持つ。

サステナビリティ、デザイン、ソーラーテクノロジーを融合した未来をつくり上げるための創造を続け、ソーラーデザインを通じて持続的な変化を生み出し、建物やオブジェなどを通じて生活に

太陽光発電を取り入れ、誰もが太陽光発電をより身近に感じられるようになることを目指している。代表作に「Sunne」、「Current Table」、「Power Plant」、そして2020年ドバイ万博のオランダパビリオンの屋根などがある。

マーヤンは、太陽光エネルギーへの移行を世界的に加速させるため、Cos、Timberland、Swarovskiなど著名なブランドとのコラボレーションにも取り組んでいる。

ジョー・ドーセット (Joe Doucet)

デザイナー／ジョー・ドーセット X パートナース 代表



デザイナー、起業家、発明家、クリエイティブ・ディレクターとして、現在アメリカで最も人気のあるクリエイターの一人。

ドーセットはイノベーションや社会課題の解決、美意識にはデザイン思考が有用であると考え、視覚的・技術的にクリエイティブでありながら、メッセージ性を含んだ作風を特長とする。

また、作品に関するデザインや技術で数多くの特許を保有している。ドーセットの作品は、世界中で展示されているほか、ワールドテクノロジーアワードの「デザインイノベーション賞」や、複数の「グッドデザイン賞」などの国際的な賞も数多く受賞。

2017年には、米国スミソニアン協会のクーパー・ヒューイット国立デザイン博物館による「ナショナル・デザイン・アワード」を受賞。同賞はプロダクトデザイナーにとって最も名誉のある賞と言われている。また、一昨年・昨年 Dezeen の Designer of the Year のファイナリストに選出されたほか、Fast Company の Most Important Design Companies を受賞している。

スズキ ユウリ

アーティスト、デザイナー／ペンタグラム パートナー



© Nick Glover

スズキ ユウリは、人と音の関係を考察する作品やプロジェクトを通して、音と視覚言語を探究し、ビジュアルとサウンドがどのように進化して個人的な経験を生み出すかを問うアーティスト、デザイナー。これまでに、Tate Britain（ロンドン）、V&A（ロンドン）、Barbican Center（ロンドン）、MoMA(ニューヨーク)など、国内外で個展やグループ展に参加する。

コラボレーションを多く行っており、will.i.am や Jeff Mills など様々なミュージシャンやアーティストと共作しているほか、Google や Roland などの商用クライアントを含め、サウンドとテクノロジーを素材にインスタレーションやプロダクトそして音楽と様々な体験を生み出している。

2018年には、世界的なデザイン事務所ペンタグラムのパートナー（共同経営者）に就任。ロンドンスタジオを拠点として、デザイン、テクノロジー、サウンドの境界を押し広げようと、数々の国際的なクライアントと仕事を行なっている。

スマイヤ・ヴァリー（Sumayya Vally）

建築家／カウンタースペース 主宰



© Lou Jasmine

スマイヤ・ヴァリーは、数々の受賞歴をもつリサーチスタジオ「カウンタースペース」の主宰。国際的に知られる建築プログラム「第20回サーペンタイン・パビリオン(2020/2021)」のデザイナーに、史上最年少で任命された建築家でもある。

サーペンタインで新しくスタートしたフェロシッププログラム「Support Structures」の立ち上げにも携わっている。本プログラムは、芸術と社会正義、芸術とその保存、芸術とエコロジーなど複合的な要素を持つ作品を通じて、コミュニティをサポートするアーティストなどを支援している。

2022年には世界経済フォーラムで、世界で最も有望なアーティスト、研究者、起業家、活動家、政治家などで形成されるヤング・グローバル・リーダーズの一人として選出されているほか、今後の建築界における規範を築き上げ、未来を切り開くデザイナーとして「TIME 100 NEXT LIST」の一人にも選出されている。近年は、国際モニュメント基金のメンバーとして複数の委員会に参加し、芸術に関する最新の専門知識（技術）の支援を通じて、世界中の歴史的建造物や文化遺産を革新的な方法で未来に残すことに取り組んでいる。

現在ヴァリーは、2023年にサウジアラビアのジッダで初めて開催されるイスラム・アート・ビエンナーレのアーティスティック・ディレクターとして、キュレーションにも取り組んでいる。

◆LEXUS DESIGN AWARD について

2013年に創設された LEXUS DESIGN AWARD は、世界中の新進気鋭のクリエイターに焦点を当てる国際デザインコンペティションです。本アワードでは、より良い社会に貢献するデザインを広く募り、選出された4組の受賞者は世界の第一線で活躍するクリエイターの指導を受けながら、共に **Design for a Better Tomorrow**（より良い未来のためのデザイン）を追求、自身のアイデアのプロトタイプ化に取り組めます。また、受賞者がメディアを通じてアイデアを世界中に広く発表する機会も設けられており、その後のキャリア形成にも貢献しています。